

平成26年度 横浜ゴム（株）防災見学会」

12月 4日（木）／横浜ゴム（株）平塚製造所

主催：防災問題研究会

東日本大震災を契機に、大規模災害への備えとして様々な方策が採られる中、横浜ゴム（株）殿が震災以前に導入した「地下水膜濾過システム」は、震災時の水確保に大きな威力を発揮したことから、本装置の見学、また夜間の災害時に避難道を照らす「ソーラーライト」他を見学した。

1. 地下水濾過システム

- ・地下約100mから採水し、本システムで飲料水化し、公共の上水と混ぜ合わせ工場内で使用するが、RO膜で浄化するため、上水より良質な水が得られる。
- ・260m³の水槽を保有し、工場内の必要量の80%以上を賄え、1世帯4人の一般家庭1065世帯分、非常時には2000世帯の3日分に対応化で、有事の際には地域の人に配水する事としている。

2. 避難通路確保

- ・大規模地震等の非常時、上部からの落下物や割れたガラス破片等から非難者を保護し、さらに

避難通路を確保する意味から、工場内主要通路に門型の屋根を設置。

- ・夜間で停電時の災害を想定し、工場正門に通じる道路にソーラーライトを設置し、この明かりを辿れば、正門まで行けるようにしてあった。

